

エコドライブ トレーニング 2008年に22の販売店で31回実施

参加者は平均で 18 %の燃費改善。累計受講者は、約 900 人。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:ゲラシモス ドリザス、本社:愛知県豊橋市)は、昨年末から始めた「フォルクスワーゲン エコドライブ トレーニング」を、今年6月から12月までに22の販売店で合計31日実施し、これまでの累計参加者は、約900人となりました。

VGJは、昨年12月にドイツ本社で実績のある「フォルクスワーゲン ドライビング エクスペリエンス Eco Drive Training」を立ち上げ、東京を皮切りに、今年2月に豊橋、4月に大阪でVGJ主催のエコドライブトレーニングを実施。6月からは全国のフォルクスワーゲン販売店の要請に応じて、セールススタッフや顧客向けに出張トレーニングを実施してきました。また10月の富士スピードウェイで開催し1万人以上を集めた「フォルクスワーゲン フェスト 2008」においても、7台のトレーニング車両がフル稼働しました。

エコドライブは決してスローで退屈なものではなく、交通の流れに乗ったスムーズな運転により、交通全体のCO₂量を減らすというコンセプトは、参加者から高い支持を受けており、「とてもいいプログラムなので、なるべく多くの人を受けられるといい」「クルマが元気に走ってこそエコだという考え方に大拍手です」といった賞賛のコメントが多く寄せられています。

このトレーニングは、フォルクスワーゲンの誇る「高出力」と「低燃費」を両立したTSIエンジン+DSGトランスミッションを搭載したゴルフシリーズに、ドイツ モダンドライブ社の計測器「MD Eco」を搭載した車両で実施します。参加者は1回目は普段どおりの運転で、2回目は2000回転以下での「早めのシフトアップ」、「早めのアクセルオフ」や「アイドリングストップ」などのテクニックを同乗のインストラクターから学びます。2回の走行データはグラフ化され、平均燃費、瞬間燃費、走行時間、平均車速、CO₂排出量などを比較しながら個別にクリニックを受けることで、参加者は運転と燃費の相関関係をリアルに把握することができます。なお、エコドライブトレーニングの開発と実施については、内閣府認証NPO法人「mobility21」(<http://www.mobility21.jp/>)と協力しています。

フォルクスワーゲン グループ ジャパンは、今後も販売店と協力してこのエコドライブ トレーニングを継続していく方針です。エコドライブ及び環境対策の詳細については、インターネット ホームページ(<http://www.volkswagen.co.jp/sustainability/>)をご参照ください。また携帯電話からも、「エコドライブ10のポイント」やフォルクスワーゲン各モデルの実燃費が確認できる「Eco Drive マネージャー」(<http://www.volkswagen.co.jp/m/eco/>)を、「e 燃費」を運営する株式会社 IRI コマース & テクノロジーの協力で提供しており、好評を博しています。

